

2016年度 環境活動レポート

(2016年2月1日～2017年1月31日)



発行日 2017年3月31日



〒990-2226 山形市西越25番地
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>



環境方針

◆ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは多様なトラックボデーを開発設計、製造、メンテナンスに係わる事業活動を通じ、全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、長年培ってきた技術力をもって、環境面においても高機能・高付加価値のトラックボデーを開発製作し、温暖化防止に寄与していきたいと考えています。

特に、社内で行っている3S活動(整理、整頓、清掃)とチヨコ案制度(改善提案)を活発化することによって環境負荷低減を加速できるものと位置付け、全社員で地球環境と周辺地域の環境保全に貢献します。

◆ 環境行動指針

1. 環境関連の法律等を守り、地域の環境保全活動に協力していきます
2. 3S活動と連携して省エネ、省資源、リサイクルを積極的に取り組み環境負荷の低減を目指します。
3. チヨコ案制度(改善提案)を推進継続し環境負荷低減の改善を加速いたします。
4. この行動方針は全社員へ周知し、確実に実施することで維持してまいります。

2016年2月1日

株式会社 いそのボデー

代表取締役 磯野 栄治

2.組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役社長 磯野 栄治

2-2. 所在地

- 本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

2-3 .環境管理責任者及担当者連絡先

- 環境管理責任者:設計部長 石井 崇
- 連絡担当者 :総務部長 本間 久美
- 連絡先・TEL023-624-1711 FAX023-62-0681
- Email:kumi.h@isono-body.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1964年[昭和39年)2月

2-5. 資本金

- 3,630万円

2-6. 事業活動の内容

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行

2-7. 認証登録・範囲

- 全組織・全活動を対象としています。

2-8.事業の規模



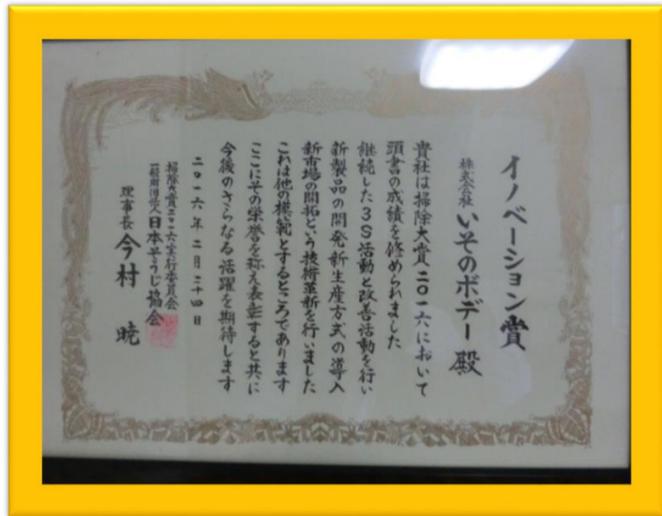
事業年度	2014年度	2015年度	2016年度
事業規模の指標	(2014.2～2015.1)	(2015.2～2016.1)	(2016.2～2017.1)
売上高(百万円)	1,530	1,714	1,748
従業員数(人)	90	95	95
整備車両台数(台)	4,794	3,989	3,981

注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月～翌年1月まで)による

2-9 2016年度の近況報告

★ 日本掃除大賞2016において「イノベーション賞」を受賞！

3S(整理・整頓・清掃)と3レス(シャシレス、設計レス、スキルレス)に取組み作業工程の短縮、残業時間の削減につながったことが評価されました。環境面においても電力使用量に大きく関わり環境負荷削減に貢献しました。昨年の「経済産業大臣賞」に続き二年連続の表彰となりました。
「工場は最高のセールスマン」を掲げ、お客様に見てもらえる工場に全社員で取り組んでいます。



★ 全国大型自動車整備工場経営協議会様工場見学 (平成28年11月2日)

北海道から沖縄まで全国から弊社の塗装技術を見学にいらっしやいました。遠いところ大変ありがとうございました。



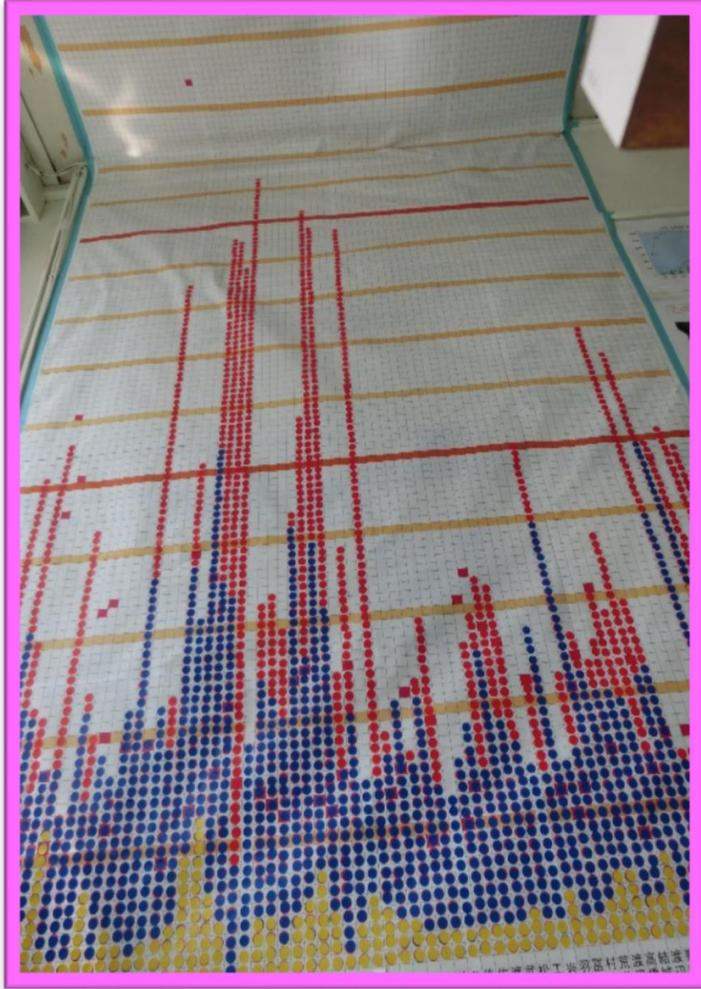
【塗装部員紹介】



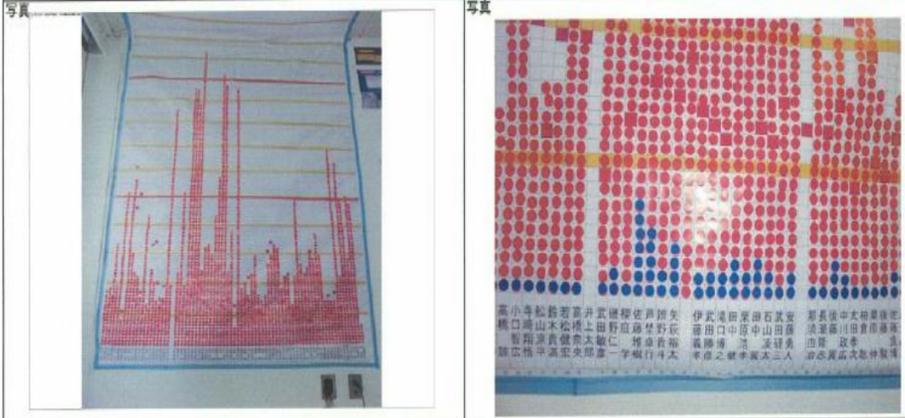
【記念撮影】

◆ 全員参加の「チョコ案」活動

一人、月1件以上提出を35ヶ月連続提出達成中！



チョコ案 こんな改善できました

	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>総務部長</th> <th>常務</th> <th>所属長</th> </tr> <tr> <td>部長 15.6.15</td> <td>部長 15.7.12</td> <td>部長 15.7.10</td> </tr> <tr> <td>本部長</td> <td>本部長</td> <td>本部長</td> </tr> </table>	総務部長	常務	所属長	部長 15.6.15	部長 15.7.12	部長 15.7.10	本部長	本部長	本部長
総務部長	常務	所属長								
部長 15.6.15	部長 15.7.12	部長 15.7.10								
本部長	本部長	本部長								
部署 総務部	氏名 菊地美野里・本間久美	日時 28年 2月 9日								
分類 治具 作業効率 表示 美化 安全 経費削減 その他		NO. 27								
改善前 新年度用のチョコ案のグラフを作成し貼るのに大きなグラフなので大変時間がかかっていた。	改善後 前年度のグラフを使用し上に青のシールを貼るようにした。前年との比較も一目瞭然となった。	写真 								
コメント	年間コスト削減 一歩=1円 一秒=1.6円 一分=100円 表の作成から貼るまで約1日かかる $60分 \times 8.0H \times 100円 = ¥48,000-$ 様式=260改訂3									

【環境にやさしいチョコ案グラフ】

このチョコ案のグラフ1件ごとに1枚のシールを貼り、毎年新しく作成しておりました。A3の用紙36枚を貼り合わせて作成し、壁に貼るのも天井までの高さ大きさなので大変苦労しておりました。一年使用後はゴミとして廃棄処分しておりました。

そこで「チョコ案」として毎年同じグラフを使用し、年度毎に色を変えてシールを貼ることにしました。それが左のグラフになります。前年との比較にもなりますし廃棄処分がなくなりましたので少しではありますが廃棄物の量も減らすことができました。

◆ 毎月開催されるチョコ案発表会

【各係代表者1名がチョコ案を発表します】



【年間表彰 社長賞等の表彰制度】

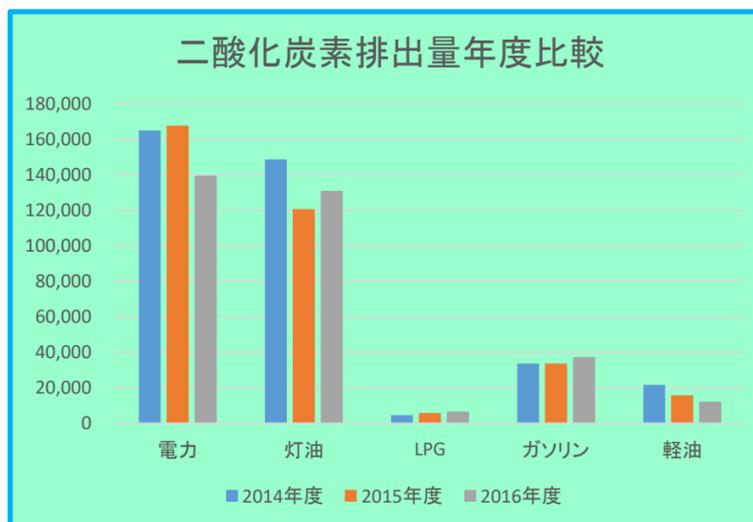


3.環境目標とその実績

3-1.環境負荷の現状と推移(環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

エネルギー資源	2014年度	2015年度	2016年度
電力	164,854	167,519	139,432
軽油	21,548	15,874	12,159
ガソリン	33,613	33,625	37,359
灯油	148,591	120,492	130,890
LPG	4,539	5,837	6,594
CO2排出量計	373,150	343,347	326,434



1) 当社における2016年度の二酸化炭素排出量は合計326tとなっており一般家庭(年間5.0tJCCA:全国地域温暖化防止活動推進センター)の65軒分の排出量に相当していましたが、しかし2013年度(基準年度351t)と比較すると25t減少しました。一般家庭でいうと5軒分の減少となりました。

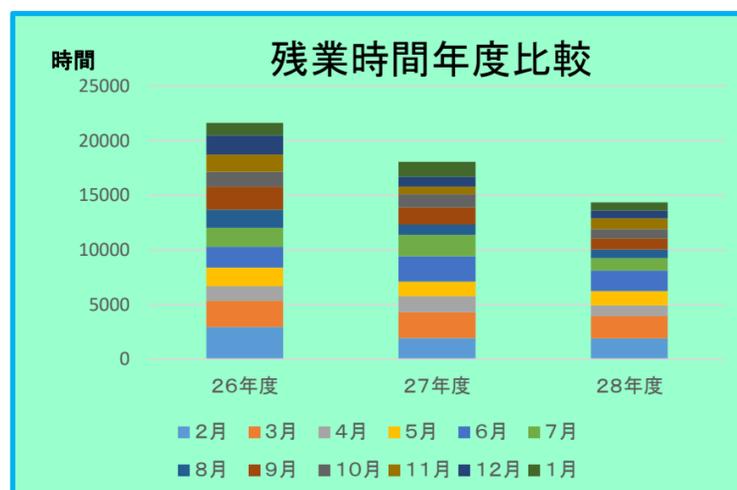
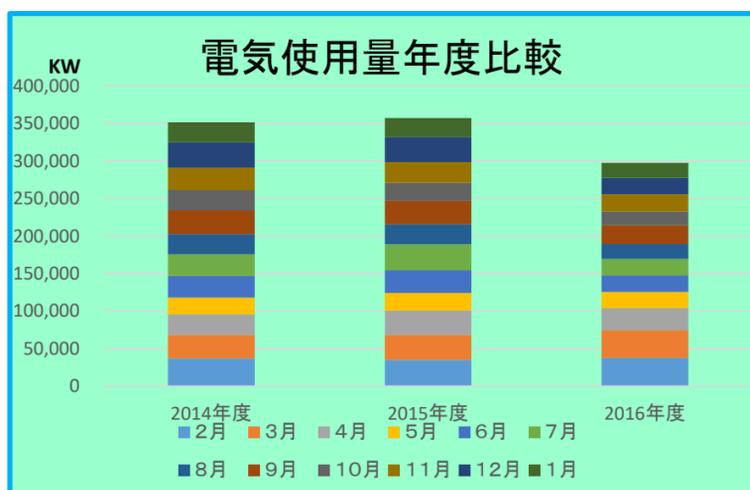
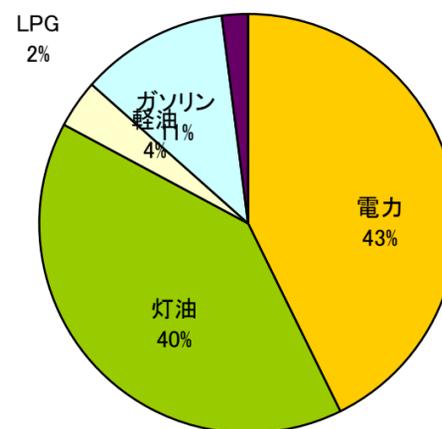
2) 2016年度に排出される二酸化炭素の57%は化石燃料に使用に伴うもので、その中でも灯油が40%を占めており残念なことですが昨年より8.6%増加してしまいました。

3) 灯油は、冬場の車体塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用しています。夏場の悪天候や工場の暖房器具を増やし寒さ対策などで使用量が増加したと考えられます。

4) 灯油以外の化石燃料では軽油12t、ガソリンが37tとなっています。営業車の軽自動車を4台増車したことによるものと考えられます。

5) 電力の消費による二酸化炭素排出量は、139tで43%の割合になっています。2015年度と比較すると16.7%削減されました。これは工場をはじめすべてLEDに替えたことによるものと、残業の削減により激減したと考えられます。※電力の二酸化炭素換算係数は平成20年東北電力の数値(0.469)を使用しました。

<二酸化炭素の排出源>



■ 産業廃棄物排出量

一般廃棄物は紙類(廃コピー用紙、段ボール類)がほとんどで、すべて再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、木くず26t、廃プラが9t、汚泥9t、廃油が4t、金属くずが2t、鉄くずが87tとなっています。

廃プラは焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は81.6%となっています。



■ 総排水量(水使用量)

年間の水の使用量は1,648m³で、生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などで水を使用しています。

■ 化学物質使用量(購入量)

主に塗料の中に含まれるPRTR対象物質について、その購入量と含有率からトルエン並びにキシレン等の購入量を集計しました。最も多いのは、トルエンで2,101kgキシレンは1,220kgとなっています。塗装作業で使用されることから排出先は大気となっています。



3-2 環境目標項目の選定と目標設定の考え方

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との整合性を図り、次の7項目(山形エコアクション21対応項目を含む)について、環境目標(単年度目標&5年間の中期目標)を設定しました。

環境目標項目		単年度目標	中期目標
		2016年度目標 (2016.2※1~2017.1)	2013年度~2018年度(5年間)
二酸化炭素 排出量	電力使用量	2015年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
	化石燃料使用量	2015年度2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
廃棄物 排出量	一般廃棄物	2015年度比2%削減	2018年度までに一般廃棄物量を2013年度実績の10%削減を目指す
	産業廃棄物	2015年度比2%削減 リサイクル率50%以上	2018年度までに産業廃棄物量を2013年度実績の10%削減とする。またリサイクル率を60%以上とする
総排水量 (水使用量)		2015年度比1%の削減	2018年度までに2013年度実績の5%の削減とする
化学物質使用量 (PRTR対象物質)		2015年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す
グリーン購入推進		2015年度比2%UP以上とする	2018年度までに2013年度実績値の10%UPを目指す。
製品・サービスの環境負荷 削減に関する目標		iSkip車の軽量化	iSkip車の軽量化を2018年までに2014年度実績値の5%削減を目指す
		社員チョコ案提出率 100%	全社員チョコ案月1件以上提出を継続する。環境面で優れたチョコ案を「エコで賞」として毎年表彰する。
山形エコアクション21 対応目標		環境NPOの支援・協力	
		年2回(5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する	

3-3.環境目標達成状況

◆ 二酸化炭素排出量(電力使用)

(単位 kg-CO2)

2015年度	2016年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
167,519	164,168	139,432	16.8%	◎



【目標】2015年度比 2%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(電力使用)は年々増え続けていました。2015年度は残業時間の削減を全社を挙げて取組んだところ残業時間削減はできましたが、なかなか電力使用量は削減できませんでした。しかし、2016年5月に工場の水銀灯をはじめ社内すべての照明器具をLEDにしたところ電力使用量が16.8%削減でき、目標を達成することができました。

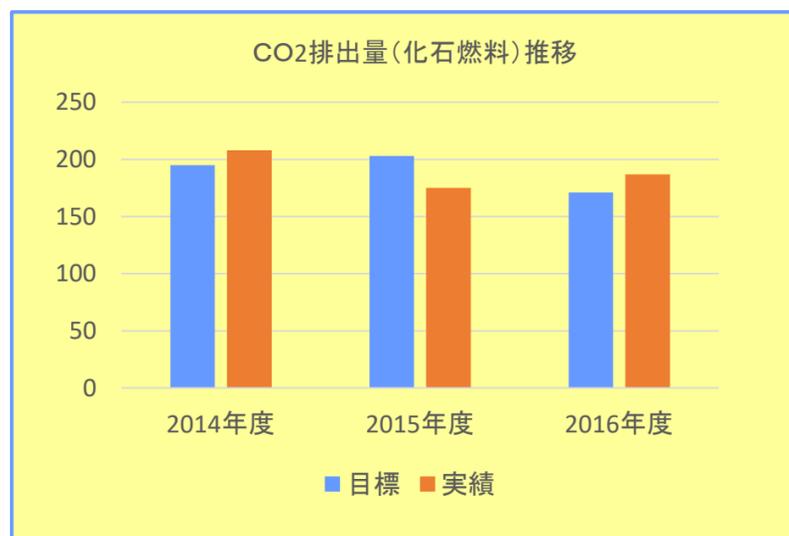


【工場のLED】

◆ 二酸化炭素排出量(化石燃料)

(単位 kg-CO2)

2015年度	2016年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
175	171	187	-6.8%	×



【目標】2015年度比 2%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(化石燃料)は昨年度対比6.8%増加と目標未達となりましたが、営業車として軽自動車を4台増車したことにより増加したと考えられます。原因が明らかになっているので来年度は燃費の目標も加えていきたいと考えております。

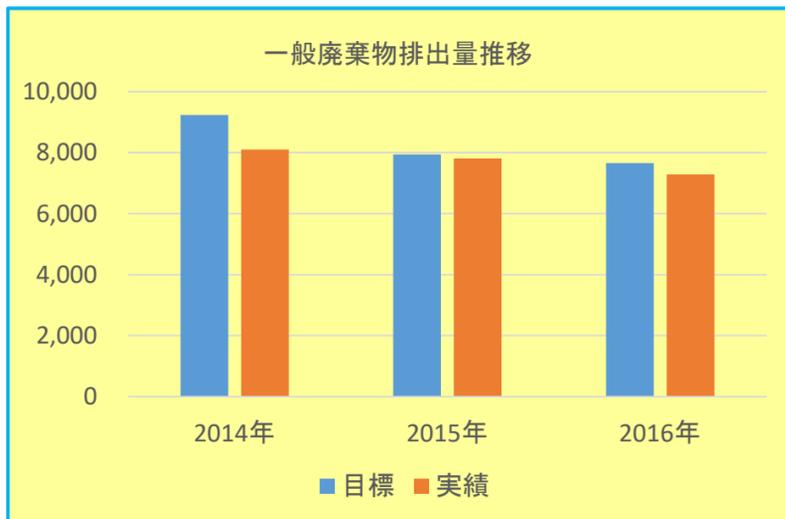


【電気自動車の社有車】

◆ 廃棄物排出量（一般廃棄物）

（単位 kg-CO2）

2015年度 実績	2016年度			評価
	目標	実績	増減率	
7,810	7,653	7,280	6.7%	◎



【目標】2015年度比 2%削減

● 取組の評価

2016年度は目標を373kg削減し達成することができました。一般廃棄物排出量は主に梱包用のダンボールになります。また事務所で使用するコピー用紙等の裏紙使用や不要な紙類は専用の箱を設置し100%リサイクルに回しています。今後は工場内にも設置していきます。

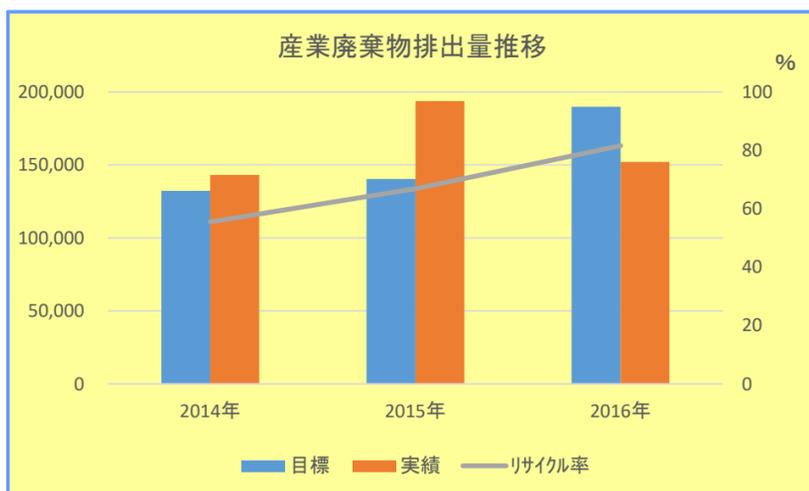


【産廃のコンテナに雨が入らないように屋根を作りました】

◆ 廃棄物排出量（産業廃棄物）

（単位 kg-CO2）

2015年度 実績	2016年度			評価
	目標	実績	増減率	
193,818	189,941	152,112	21%	◎



【目標】2015年度比 2%削減

● 取組の評価

2016年度は目標を41,706kg削減できました。昨年は生産高の増加により廃棄物も増加したと考えられました。しかし今年は生産量増にも係わらず削減できたことは個々の分別の意識付けと思われれます。リサイクル率も81.6%と上がり目標の65%を達成することができました。木くずが多く、すべてリサイクルされています。今後もしっかりと分別し維持していきます。

産業廃棄物	リサイクル率
2014年	55.5%
2015年	66.9%
2016年	81.6%



◆ 水使用量

(単位 m³)

2015年度		2016年度		評価
実績	目標	実績	増減率	
1,562	1,546	1,648	△5.5%	×



【目標】2015年度比 1%削減

● 取組の評価

2016年度は目標を102m³増加してしまいました。生活用水の他に製造前後の新車と修理車の洗車に使用されます。製造後のトラックボデーには水漏れがないかを自家製のシャワーテスト機を利用します。これは雨水及び水道水を使用します。テスト機のエア混合率を高め、水の使用量を抑えるようにしております。



【オリジナル「シャワーテスト機」】

◆ 化学物質使用量

(単位 kg)

2015年度		2016年度		評価
実績	目標	実績	増減率	
4,241	4,156	4,143	2%	◎



【目標】2015年度比 2%削減

● 取組の評価

2016年度は目標を98kg削減で2%削減できました。(この数値は購入量となります。) 昨年より減少傾向にあります。更に3S活動による目に見える在庫管理での最大、最少適量を見直したことにより化学物質使用量も削減できました。次年度は健康障害の予防にも係わる特化則に対応する製品への切り替えを進めていきたいと考えております。



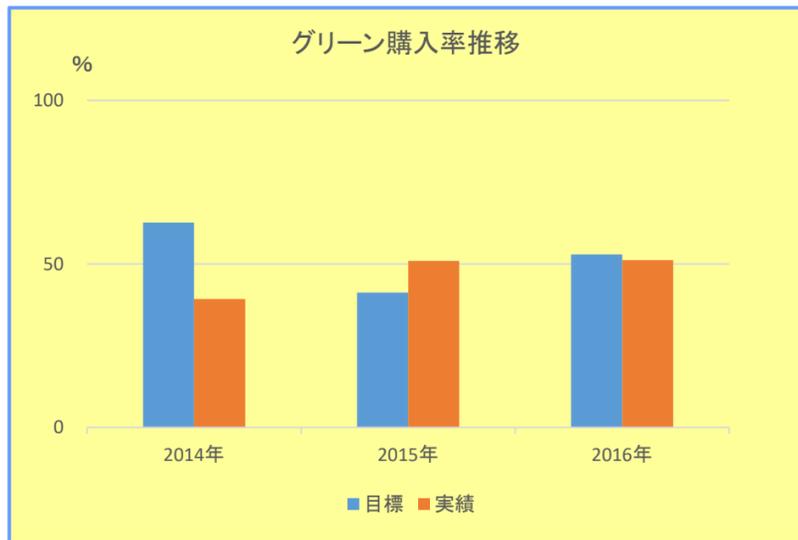
【塗装工場の様子】

【工場内での節分「豆まき」
(赤鬼&青鬼登場!)]

◆ グリーン購入

(単位 %)

2015年度	2016年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
50.9%	52.9%	51.2%	△1.7%	×



【目標】2015年度比 2%以上UP

● 取組の評価

2016年度の実績は目標に対して△1.7%の51.2%となったものの昨年より0.3%UPしました。事務用品を対象とした購入率(金額ベース)ですが、購入率を上げることはなかなか難しいため現状維持取組を継続していきます。



◆ 不良率

2015年度	2016年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
95	85	62	34%	◎



【目標】2015年度比 10%削減

● 取組の評価

2016年度は前年より33件減少できました。品質委員会の開催と不具合の情報を社員全員で共有することで不良製品の撲滅に取り組んでいます。



【先入れ先出しの仕組みのボルト棚】

◆ 地域の環境保全(山形エコアクション21対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)会社周辺の清掃活動を実施

平成28年5月と10月に毎年恒例の会社前の国道13号線から山形自動車道の側道付近のゴミ拾いを述べ人数170人が参加しました。ゴミ拾いだけでなく国道沿いの歩道の掃き清掃も行うようにしました。来年も実施します。



4.環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	取組の評価と次年度	
			評価	次年度
二酸化炭素排出量の削減	■化石燃料の使用			
	1) 灯油	* 暖房用:冬期間、事務所の室温を20℃を目安に管理する。	○	継続
		* 工場内:ジェットヒーターのスイッチをこまめにON/OFF	○	継続
	2) 軽油・ガソリン	* 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理する。	○	継続
		* エコドライブ研修会を実施する。	×	継続
	■電力使用			
	1) 工場での使用	* コンプレッサー:毎月1回、エア漏れをチェックする。	○	継続
		* 照明器具:休憩時、無人の場合など、照明を消す	○	継続
		* 電気使用機器全般:効率的な使用、こまめなON/OFF	○	継続
		* 水銀灯のLED化	○	完了
2) 事務所での使用	* 事務所の室温を暖房時20℃、冷房時28℃を目安に管理する。	○	継続	
	* 不要な照明は消すなど、節電を徹底する。	○	継続	
	* PCを省エネモードに設定し、長時間席を離れるときは電源を落とす。	○	継続	
廃棄物の削減と適正管理	■廃棄物の排出			
	1) 一般廃棄物	* 分別のルールを決め、そのルールを守る	○	継続
	可燃ゴミ・段ボール類 カン・ペットボトル	* 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に入れる	○	継続
		* 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。	○	継続
		* マイ水筒運動の展開	○	継続
		* 塗装工程の紙貼りの紙を削減するために工程内で作業順を考える	○	継続
	2) 産業廃棄物	* 処理業者の選定の見直し(リサイクル可能な業者の選定)	○	継続
廃プラ・金属くず・廃油	* 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。	○	継続	
	* マニフェスト管理を徹底する。	○	継続	
	* 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。	○	継続	
水の削減	■水道の使用	* 手洗器水栓の吐量の適正化	○	継続
		* 洗車時の節水協力要請	○	継続
化学物質	■化学物質の使用	* エコ塗料への転換推進	○	継続
グリーン購入	■事務用品の購入	* 事務用品の発注時は、エコ商品を優先的に購入する。	○	継続
製品・サービス関連	■iSkip車の軽量化	* iSkip車の前年比1%軽量化する	取組中	継続
	■チョコ案提出率100%の継続	* 全社員月1件以上のチョコ案の提出を継続する	○	継続
山形EA21	■地域の環境保全	* 会社周辺の清掃活動	○	継続

★評価のまとめ

2016年度は日程調整出来なかったためエコドライブ研修会を実施することが出来ませんでした。また大きな成果としては工場の水銀灯をはじめLEDに交換しました。さらに社員の残業削減の取組により昨年より20%削減できたのと合わせて年々増加傾向にあった電力使用量の削減できたことは大変良い結果となりました。

★評価のまとめ

取組の基本的な項目は2017年度以降も継続していきます。化学物質使用量削減として有機系の塗料などに対して特化則・PRTR法に対応するアイテムへの切り替えに向けて次年度は取り組みたいと考えております。

4-1 2016年度取組状況

○ 環境教育訓練記録 (エコアクション21の教育:経営計画発表会) 平成28年1月30日



内容：環境方針及び目標、計画を全社員へ周知しました。

結果：全社員で環境方針等を共有できました。

○ 緊急事態発生への訓練記録 (火災発生) 平成28年11月28日



内容：全社員に対し、メンテナンス工場より火災発生を想定し、早期避難、初期消火活動を訓練しました。

結果：避難経路の確認及び人員点呼や消火器の使用方法を再確認し緊急事態にそなえました。

○ 緊急事態発生への取組 (オイルが地面にこぼれた場合) 平成28年6月21日

エコで賞		チョコ案 こんな改善できました		部署	氏名	職名	日付
改善前	改善後	NO.	14	メンテナンス部	栗山 利明	主任	2016年 6月 21日
油が床にこぼれた時、今までは床に直接中和剤を撒いていた。1回で2L以上使っていた。	中和剤を噴霧器に入れて散布した。数00で済んだ。						
				年間コスト削減 一歩=1円 一歩=1.6円 経費削減 4795.920L x 114,000円/Lに準じて1回使用20L ¥2,700- 噴霧器使用時、1回2L ¥270 10分1に削減		コメント	

「チョコ案」によって改善！

内容：これまでは修理車からこぼれた油の対策としてこれまでは中和剤を直接床にまいていましたが、噴霧器に入れて散布することに変更しました。

結果：噴霧器を利用することにより、少量の中和剤及び広範囲に散布できることを確認しました。

5.環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、2016年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- 廃棄物処理法 ■自動車リサイクル法 ■フロン回収破壊法 ■家電リサイクル法
- 大気汚染防止法(VOC関係) ■悪臭防止法 ■PRTR法
- 水質汚濁防止法(油水分離層) ■浄化槽法
- 騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- 消防法並びに山形市火災予防条例 ■高圧ガス保安法 ■労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来、ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

5.代表者による見直しの結果

今年度はちょうど5年目の取組となり環境と経営に係わる結果が出せた年だと思われます。3S委員会活動と会社を取り組んでいる3レス(シャシーレス、設計レス、スキルレス)活動、チョコ案活動そしてこのエコアクション21の取組が活発化し一体となり全社員で取り組んだ成果だと思ひます。

今年の大きな取組として工場の水銀灯及び事務所関係部署の電気をLEDに変えました。さらには残業削減を目指し、営業・設計・購買・生産で連携を取り、先読みをした受注状況と生産負荷を各部門で共有し無理のない生産工程を組んだ結果残業時間の削減につながり前年比20%減となりました。このように照明機器をLEDに変えたことと残業時間の削減はこれまで達成できなかった電力使用量の削減に大きく貢献したものと考えられます。

次期は、化学物質使用量削減として有機系の塗料などに対して社員の健康・安全に配慮した作業環境の整備と環境に対する負荷軽減策として有機則、特化則に対応する製品への切り替えを進めていきたく考えております。

また、チョコ案の1人1件以上提出100%達成35ヶ月の記録更新と、環境負荷削減に対しての社員一人一人の意識付けで、ムダの出ない仕事の取組みを一層強化して参ります。



この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡ください。

また、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21jp/>)でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681